

令和5年3月6日

秋田ヘアビューティカレッジ
校長 小野 繕 永 様

学校関係者評価委員会
委員長 藤 谷 大 和

学校関係者評価委員会報告

令和4（2022）年度学校関係者評価について、下記の通り評価結果を報告いたします。

記

1 学校関係者評価委員

- 藤谷大和（有限会社ディーキューブ 取締役）
- 佐藤敏雄（潟上市議会議員・卒業生）
- 沼田直子（株式会社GENIE ニコドロップ店長）
- 加藤直樹（株式会社ビー・エイチ 代表取締役）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- ① 令和4年6月27日 月曜日
(会場 秋田ヘアビューティカレッジ 2階メイク・ネイル室)
- ② 令和5年2月27日 月曜日
(会場 秋田ヘアビューティカレッジ 1階実習室)

3 学校関係者評価委員報告

別紙の通り

以上

各評価項目について

1 教育理念、目的、育成人材像

- ・ SNS のフォロワーが増えているのはとても良いこと。ターゲットをしっかりと見据えた投稿内容にすることと、内容がマンネリ化しないことに注意しながら継続してもらいたい。同窓会などの卒業生交流にもつなげやすい。
- ・ TikTok を利用し、楽しそうな学校の雰囲気をターゲットの高校生に伝える取り組みも検討してもらいたい。

2 学校運営

- ・ 賞与年間 2 回支給は先生の指導に対する熱意や、スキルアップのモチベーションにもつながるので続けてもらいたい。

3 教育活動

- ・ 美容師向けの研修動画は、情報として最新のニーズを知ることだけでも大いに効果がある。視聴回数を増やして、先生の技術面向上のみならず、精神的なフォローにも繋がることを期待する。
- ・ サロン実習は期間を延ばすことも検討するが、実習内容を具体的に生徒とサロンで共有する必要性を感じた。また、実習先のサロン毎にできる内容に差がある為、事前にサロン一覧のようなもので実習内容を生徒が把握したうえで、実習先を選べるようにしてはどうか。学校から、これを学ばせたいという要望がサロン側にあってもよい。

4 学修成果

- ・ 年 3 回の個人面談は今後も継続してもらいたい。生徒の悩みを聞く場として、心境の変化やメンタル面のフォローをしてもらい、有意義な学校生活を送ってもらいたい。
- ・ 生徒の就職先について、学校とサロンが協力して取り組んでいくことで、就職後の離職率低減につながる。サロン側としても通常の求人票だけではなく、各サロンの社風や特徴などをまとめたサロンガイドの作成に、アンケートを通じて協力することができる。

5 学生支援

- ・ 同窓会については卒業生のコミュニケーションの場として期待出来るので、次年度にはぜひ開催できるように規程の制定をすすめてもらいたい。

6 教育環境

- ・学校内トイレのドア不具合の改善を早急をお願いしたい。
- ・実習室シャンプー台の配管修理など、備品を大切に利用していただけて感謝している。経年劣化もあり、修繕に費用がかかるようであれば、時代のニーズに合わせ、今後はリアシャンプー台の追加導入も検討してほしい。
- ・実習室に設置されている、教員の手元を映すモニターに大きいブラウン管テレビを使用している。液晶モニターも大型で安価なものが増えてきているので、交換の検討をしてほしい。
- ・教員の手元映像を動画としてまとめ、生徒が自宅でも見直せる環境があればさらに魅力的な学校になる。

7 学生の募集と受け入れ

※特に意見等なし

8 財務

※特に意見等なし

9 法令等の遵守

- ・特に問題はなし。

10 社会貢献

- ・生徒の安全を第一に考えながら、今年度開催した生徒によるヘアショーのようなイベントを、OBOG やサロン・メーカーから協賛をいただいで開催することも検討してみてもらいたい。

以上